



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 Happy♡Smile クリスマス交流会／山形落語まつり
- ・福島県 おだかぶらっとほーむ オープン
- ・山形県 復興庁 支援情報説明会・交流会
- ・Special Interview 長井市 総合学習指導塾七色学舎 村田孝さん
- ・しあわせココロのつくりかた(41) ・みんなの声
- ・おすすめ情報 ・レシピ ・団体紹介 ・編集部より

第69号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 3,000部

Happy♡Smile クリスマス交流会 寄稿

12月上旬、高島町避難者サークルハッピースマイルでは、毎年恒例の「クリスマス交流会」を行いました。

今年は、高島町糠野目のボランティアサークル「フレンズ」さんにおこし頂き、ポップアップ式のかわいいクリスマスカード作りを教えてくださいました。小さいお子さんでも簡単に出来るよう材料は全て切つて



あり、自分の好きなように貼っていくものでしたが、みなさん夢中になって黙々と楽しんでいました。会話も弾み、それぞれに可愛らしいカードが完成しました。

お昼のクリスマス会では、＼はんぺんとパプリカとゴマを使った雪だるま＼を乗せたピザ、お餅を細かく切りチーズと一緒に

乗せたピザを焼き、社協の支援員さんお手製の美味しいデザートや煮物、お漬物などを美味しく頂きました。そして恒例のビンゴ大会では、多田さん扮する赤鼻のトナカイが登場。ケーキを頂きながら賑やかに楽しみました。



会費制で交流会を続けている中で、社協のご協力を得てこのような楽しい会を開催できたことに、心から感謝しています。高島町の避難者も少しずつ減っていますが、本当に寂しく感じますが、今後みなさんがホッと安心できるような居場所を作っていけたらと思います。

(Happy♡Smile)



山形落語愛好協会定例寄席 第4回山形落語まつり

日時: 2月6日(土) 開場 13:30 開演 14:00
会場: 遊学館ホール (山形市緑町 1-2-36)
(県営駐車場 2 時間無料)
木戸銭(観覧料): 無料
定員: 324席 (お早目にお越しください)

[主催] 山形落語愛好協会
[後援] 山形市 山形市教育委員会 山形市社会福祉協議会
[お問合せ] 山形落語愛好協会 TEL: 070-5327-6565 E-mail: yamagata.rakugo@gmail.com

山形市を中心に 500 回以上の出前落語実績を誇る「山形落語愛好協会」。第4回目の定期寄席開催です。寒さを吹き飛ばして大笑い間違いなし! 山形の個性豊かな社会人落語家が繰り出す新春爆笑落語をぜひお楽しみください!!



From 福島

寄稿

おだかぷらっとほーむ
オープン！

2015年10月1日に、「おだかぷらっとほーむ」が南相馬市小高区東町一丁目にオープンしました。主に運営しているのは「小高を応援する会3B+1」の皆さんです。

来年の4月以降に避難指示解除を目指している「小高」の再興を目指し、小高を訪れた人々が気軽に立ち寄って休憩したり、住民の方々の拠り所となったりするスペースの運営を行っています。また、さまざまな情報を市民に届けるために、情報の受発信等を行うことで、地域の再生と人間復興や「小高」という地域が皆さんから「住んでみたい」と選択していただけるような地域を目指すことを目的にしています。

「おだかぷらっとほーむ」の主な役割としては、

- ・コミュニケーションスペース
- ・シェアオフィス
- ・情報発信基地
- ・相談窓口 等です。

「おだかぷらっとほーむ」の開所時間は10時から15時まで（不定休）です。お気軽にお立ち寄りください。また、毎月「おだかより」というお便りも発行しています。HPやFacebookもぜひご覧ください！

（おだかぷらっとほーむ 鳴原）



おだかぷらっとほーむ（小高を応援する会）

URL : <http://3bplus1-odaka.jp/>

Facebook : 小高を応援する会

住所 : 〒979-2121 福島県南相馬市小高区東町1丁目59

電話番号 : 0244-26-5856



From 山形

寄稿

復興庁支援情報説明会・交流会



者がこれに対応し、避難者個々の状況を鑑みた場合に本当に安心して生活出来る十分な支援とは何かを話し合うやり取りが続きました。

昼からの交流会では、食事をしながら参加者と行政担当者などが直接向かい合うリラックスした対話の時間が持たれました。並行して、避難生活の緊張や疲れをほぐそうと特設された「癒しのセラピーブース」や、子ども達へのクリスマスプレゼントタイムは大好評でした。「避難者を取り巻く現状は厳しい。そのささやかなエールになればと企画したので、実際喜んで貰えたのを見てホッとした。」とは開催関係者の言葉です。

（山形県被災者連携支援センター）

12月13日に復興庁の支援情報説明会と避難者交流会が開催されました。（復興庁主管「県外自主避難者等への情報支援事業」の一環として受託事業者（一社）山形県被災者連携支援センター）が企画）

説明会の場では、参加者からは主に今後の住宅支援策に大きな関心が寄せられ、住宅そのものの確保の問題や、提供される補助の内容等について質疑応答がありました。また、避難元に存在する不安要素が帰還を困難にしている事や正確な情報提供の必要性も意見として出され、若松復興副大臣を中心とする復興庁のチームと福島県の担当

【団体連絡先】

一般社団法人

山形県被災者連携支援センター

住所 : 〒991-8501

寒河江市大字西根字石川西355

村山総合支庁西庁舎

やまがた絆の架け橋ネットワーク内

～避難生活相談ダイヤル

Cocoro NAVI～

フリーダイヤル : 0120-293-640

URL : <http://yamagatarensen.heavy.jp/index.html>

jp/index.html

山形から福島県伊達市にもどりもう2年。伊達市の中の伊達保原の一部、梁川は未だに除染されず、こないだの伊達市議会で除染の請願書がでていたけど趣旨採択・・・。気持ちは分かるけど現実には無理という判断が。今後も市による除染はされない予定。どうしたらいいのかな・・・。

(伊達市→山形市→伊達市 30代女性)

避難前、水稻の除草、法面除草、無農薬、減肥、微生物、害虫などを勉強していました。避難者で農業をやっている方、お役に立てば、おたがい学びませんか。

(浪江町→山形市 60代男性)

伊達市に戻り一年が過ぎました。除染の遅れにいらだちを覚え、避難元に帰った事を後悔する時もあります。でも帰って来てから出会えた人達と支えあって除染を進める運動をしていく事に決めました！！仲間を増やしたいです。(伊達市 40代女性)



今年は、なんだか大雪になりそうでドキドキ。朝起きて、駐車場前に除雪後の雪の塊があるとがっかり。女の私では、重くて本当に大変・・・。腰痛もちなので大雪だと泣きたくになります。子どもたちは大喜びですけどね。(福島市→天童市 40代女性)

「みんなの声」につぶやきを送ろう

<http://kizuna.yamagata1.jp/modules/ccenter/?form=2>



ハガキに書いて送ってね



山形県に避難しているすべての方へ

つながろうNET



本紙の情報、リアルタイムなおすすめ情報やイベント情報、などを掲載しています。

モバイル、スマホOK！

<http://tsunagarou.net/>



復興ボランティア支援センターやまがた
スマホやケータイでも見ることができます



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata> https://twitter.com/fukkou_center

シアワセコラレ しあわせココロのつくりかた (41)

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

お正月の雰囲気もすっかりと抜け、日常の時間が流れ始めると、元旦に抱いた抱負や願いも少しずつ薄れてきてしまうものです。

そんな自分につながりし始めるのも、この時期ならでは。強い意志を持って努力を続けることは難しく、挫折を繰り返すこともしばしば。けれど、夢や願いがなくなってしまったわけではありませんよね。途中で挫折してしまったのは、やり方が自分に合わなかったからかも。自分に合ったやり方やスケジュールの立て方を再考してみましょう。

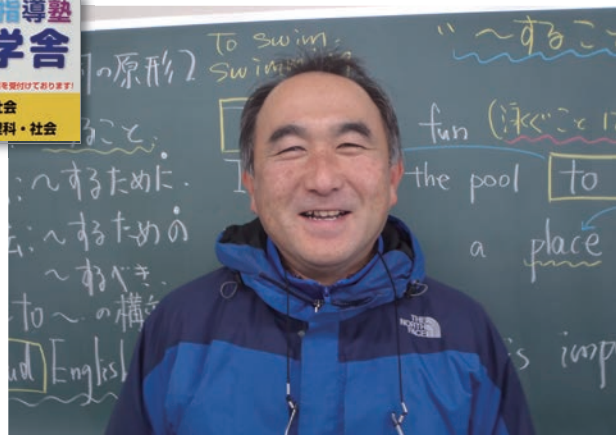
出来なかった自分を責めることは、自分自身の心を傷つけること。同じ箇所を繰り返し怪我すると、回復までには相当な月日がかかります。それは心も同じこと。今年は自他を分たず、優しい時間を過ごしてみて。きっと、新しい感覚が宿ってくるはずですよ。

但し、甘えは禁物！感謝の心がなくなると光の存在と繋がれなくなっちゃいますよ。



カウンセリング・ルーム メール相談：ryokusuinomori@yahoo.co.jp

Special Interview



長井市

総合学習指導塾 七色学舎

むら た たかし
村 田 孝 さん

Q 震災前・震災時はどこで過ごしていましたか？

福島県いわき市出身です。塾の講師として勤務していて、研修で千葉県にいる時に震災が起きました。

福島に戻り、実家に避難して断水の中過ごしていると、職場の上司から「原発で作業員をしている友人からの情報によると原発が危ないらしい」との連絡があり、3月12日の原発爆発後、3月14日に兄が住んでいる長井市に家族で避難する事にしました。

Q 塾をはじめのきっかけは何ですか？

震災前に働いていた塾の社長や奥さんはとても良くしてくれた方で、塾の子ども達の事もすぐ気になっていたのに、自分は塾をやめて避難してきたことに後ろめたさのようなものもあつて、避難先で塾を始める気にはなれませんでした。

長井市に避難してからは、NPO法人レインボープラン市民農場の方々と出会いがあり、職員として働き始めました。畑作業は初めてでしたが、一から野菜作りと米作りを教えてもらえるとあつて前向きに取り組むことができました。2012年3月には、レインボープラン市民農場の名義で借りした休耕地・休耕田を「福幸ファーム」と名付け、同じ避難者の方々と共に作った野菜を福島や神奈川、関東へ届ける活動を

始めました。また浪江町から避難してきた、長井市で酒造りを再開した鈴木酒造さんとも出会いがあり、福幸ファームで作ったお米『さわのはな』で鈴木酒造さんには『甕る』というお酒を造ってもらっています。

現在は福幸ファームの販売部門と位置づけ、「福幸ヴィレッジ」の名で安心野菜の個配業も行っていますが、これらの取り組みを経て原発事故後の生活のあり方を考えたとき、「農」を生活に取り込み自動的に暮らすことの必要性を痛感するようになりました。そしてそのことをこれからの若い人たちと共に考えたいと思い始めたとき改めて自分の中で「塾」というものにとらえ直すことができたように思います。

今年に入り準備を始め、以前働いていた塾の社長も力になってくれて、11月2日に「七色学舎」を始める事になりました。以前の塾の社長とは今も連絡を取り合いアドバイスを頂くなど、本当に感謝しています。

Q 塾をはじめ初めてみて、どうですか？

今は10人ほどの生徒ですが、口コミで少しずつ生徒も増えていきます。講師は私を含め二人で、難しい宿題を沢山出すのではなく、学校の授業で分からないところや、生徒たちがやりたい部分を丁寧に

教えるようにしています。目指すのは地域密着型の塾で、地域の方々との関わりを持ちながら土日には生徒や親御さんたちと季節に応じた交流体験もしたいと考えています。そうした活動を通していつか福島の子供たちとの交流を図ればと思っています。



避難している方へのメッセージ

震災前は忙しい毎日で、例えば友人に手紙を書く時間がなかったり、人との縁を大切にしないまま生活をしていました。震災後失業を経験し、それがきっかけで生活のペースにゆとりが生まれたことで、それまで切れていた縁が戻ってきたような感覚でした。またそれに加え避難先でも地域の方々とのご縁を数多く頂き、不幸中の幸いではありますが、この点に関しては震災前より豊かに生きられるようになったと感じています。そのことに喜びを見いだして生きていくことは先の見えない不安な避難生活の中で私たちが手にした「特権」の一つではないでしょうか？

総合学習指導塾 七色学舎
〒993-0002 山形県長井市屋城町1-40
TEL・FAX: 0238-87-1270
メール: nanairogakusha@outlook.jp

おすすめ情報

福島県からのお知らせ

避難指示区域外から避難されている方への帰還・生活再建に向けた総合的な支援策

① 民間賃貸住宅家賃への支援

(1) 対象世帯

応急仮設住宅等に避難している世帯のうち、収入要件を満たし、供与期間終了後も民間賃貸住宅で避難生活を継続することが必要な世帯。

(2) 収入要件

公営住宅法による公営住宅の入居基準を参考に、福島県が定めた基準額以下の世帯を対象とする。

母子避難世帯など二重生活世帯については、「子ども・被災者支援法」に基づく公営住宅入居の優先的取扱いに準じて、世帯全体の所得を2分の1として取り扱う。

基準額 =

世帯全員の年間所得の合計 - (38万円×同居者数)

12ヶ月

≤158,000円

(3) 対象期間 平成29年4月から2年間

(4) 補助率

1年目 家賃の2分の1 (一月当たり最大3万円)

2年目 家賃の3分の1 (一月当たり最大2万円)

○初期費用負担の軽減のため、定額10万円を別途補助する。

<お問い合わせ先>

福島県被災者のくらし再建相談ダイヤル

0120-303-059

② 住宅確保等への取組

いずれも有償での入居となります。

(1) 公営住宅等の確保に向けた取組

応急仮設住宅等からの退去後、住宅確保が困難な世帯に対し、公営住宅等への優先的な入居や、空き住戸の活用による支援を進める。

[福島県県営住宅]

○子ども・被災者支援法に基づく支援対象避難者について優先入居を実施。

○今後、当該支援対象避難者のうち応急仮設住宅等の入居者を対象に新たな優先枠を設け、中通りの住宅を中心に提供する予定。※募集開始は平成28年度以降となる見込み。

[福島県外の公営住宅等]

○子ども・被災者支援法に基づく優先入居の実施等による独自支援を要請。

[雇用促進住宅]

○東日本の一部の空き住戸について、新たな入居先として募集し、平成31年3月まで入居可能とする。

※雇用促進住宅の入居者資格を満たす必要あり。

③ 移転費用の支援

○福島県ふるさと住宅移転補助金

(対象世帯)

福島県内外の応急仮設住宅等から県内の自宅等へ移転した世帯。※平成29年3月末までに完了する移転が対象。

<補助額> () 内は単身世帯

県外からの移転 10万円 (5万円)

県内からの移転 5万円 (3万円)

前号にてお問合せ先の記載が抜けておりました。
お詫び申し上げますとともに、補足掲載いたします。

女川町トレーラーハウス宿泊村 EL FARO(エルファロ)

本紙68号にて掲載しました『EL FARO(エルファロ)』のお問合せ先をご案内いたします。

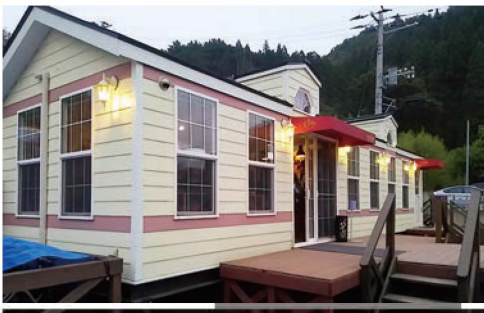
女川町方面に行かれる方は、ぜひご利用ください。

□住所：〒986-2271 宮城県牡鹿郡女川町清水町174

□ご予約・お問合せ TEL：0225-98-8703

★施設案内・料金など詳細はホームページをご覧ください。

<http://elfaro365.com/>



みなさまのお越しを
お待ちしております！



みなさまからの情報をお寄せください！

・・・詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ・・・

「借金」と「心」の無料相談会

「返しきれない借金」と「心」のこと、専門家に相談しませんか？

日時：平成28年2月29日(月) 10:30～16:30

会場：山形財務事務所(山形市緑町2-15-3)

◇弁護士による法律相談

- ・収入だけでは返済できない
- ・返済のために借金をしている
- ・奨学金が返せない
- ・病気で働けない
- ・債務整理したい
- ・弁護士費用がない…

◇保健師による心の相談会

- ・眠れない
- ・イライラする
- ・毎日気分が落ち込む…
- ・つらい気持ちを聞いて欲しい

<相談無料・秘密厳守>

※完全予約制 申込締切 平成28年2月25日(木)

遠方の方、当日不都合の方でも下記常設相談窓口までお電話下さい。最寄りの法律相談センター等におつなぎします。

【ご予約・お問合せ】

東北財務局 山形財務事務所 理財課

電話：023-641-5201(相談専用)

受付時間：月～金(祝日除く) 8:30～12:00 13:00～16:30

電話がつながりにくい場合は 023-641-5178(理財課)へ



ひと休み

庄内浜 冬の味覚の代表作

どんがら汁

レシピ提供：
在来作物案内人 鈴木淳子さん

<材料>
 たらちの切り身 3切れ (360g 程度)
 たらちの頭、油わた、
 骨などのアラ、白子 適量
 豆腐 1/2丁
 大根 500g
 ゴボウ 100g
 長ネギ 2本
 味噌 大さじ4〜
 酒粕 大さじ2
 出し汁 5カップ
 岩のり 適量

<作り方>
 ① たらちの身と頭、油わたを一口大に切る。
 ② ゴボウはささがきにして水に放つ。
 豆腐はさいの目切り、ネギはななめ切りにする。
 ③ 大根は食べやすい大きさに切って、下ゆでしておく。
 ④ 鍋にだし汁を入れ沸騰したら油わたを入れ一煮たちさせる。
 たらちの身、頭、ゴボウを入れ中火で15分程煮る。アクをとつたら味噌、酒粕を入れて煮る。
 ⑤ ④に白子、豆腐、ねぎを入れてひと煮したら火を止める。
 器にアツアツを盛り付けて岩のりを散らして出来上がり。



☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪ <http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>

団体紹介 伊達ママクローバー



私も震災直後から山形へ避難し不安な毎日を送る中、山形の皆さんには本当に温かく支えていただき、苦しいながらも楽しんで生活を送る日々でした。

出産をきっかけに避難元の伊達市へ帰ってきた当時、放射能の話をしたらいけない気がして周りや馴染めずにいたころ、帰還したママの交流会へ参加しました。そこでは、山形でも一緒だった友人にもう一度会う事ができ、福島での生活不安をはじめ口にする事ができました。話ができて前向きになれたり、楽しめることが増えたのと同時に、自分と同じように、帰ってきてから不安で話す場のない方が近くにいるなら繋がりたい、という気持ちで、友人と帰還ママの交流サークル『伊達ママクローバー』の活動をはじめました。

サークルでは地域の情報交換や放射能の事、食材の事など話したり、お料理の勉強会やアロマを使ったセルフケアを学ぶ会も企画しみんなで楽しく活動しています。

「ここなら何でも話せる場所」になりたいと願いこれからも続けていきたいと考えています。活動は毎月一回第4週に地域の交流館で行っています。伊達へ帰還されるママさんがいらっしゃいましたら是非サークルへ遊びに来てくださいね！

(伊達ママクローバー 新井)

■ 次回の活動は …… 食材の選び方を学ぶ会 日時：1月26日(火) 10:00～13:00
 場所：伊達市ふれあいセンター(伊達市立図書館施設内) 調理室

☆ 昼食付、託児あり(300円)
 ☆ お早めにお申込みください

お問合せ
 はこちら

伊達ママクローバー
 Facebook：「伊達ママクローバー」 Email：datemamaclover@gmail.com 電話：090-4479-6999 (新井)

支援センターのサイトをご覧ください → <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

復興ボランティア
 支援センターやまがた



facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

次号は2月17日 発行です

情報提供や寄稿は、
 2月3日までに
 お寄せ下さい。
 お待ちしてまーす！



避難者向けフリーペーパー「うえるかむ」

発行元：つながろう！ささえあおう！
 復興支援プロジェクトやまがた
 〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号
 「復興ボランティア支援センターやまがた」
 TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
 E-mail kizuna@yamagata1.jp
 WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

* 明けましておめでとうござい
 す。今年も余裕をもった生活
 心がけていきたいな…新しい
 一年、心豊かに過ごせませう
 に！(多田)
 * 気づいたら年女でした。今年も
 マイペースに頑張ります。(サチ)
 * 降雪に備えた、長靴・除雪スコッ
 プ、いまだ出番なし！腰痛にや
 さしい冬で大助かりです。(結)
 * この度お仲間に加えて頂きまし
 た。皆様よろしくお願ひ致しま
 す。(きよつべ)
 * よく「どこにいるの？」と言わ
 れますが、今年も県内外をウロ
 ウロしたいと思えます。(海)

つながろう NET

<http://tsunagarou.net/>



「うえるかむ」に掲載された今までの記事のすべてと、リアルタイムなおす
 め情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。